

一般社団法人 沖縄県臨床検査技師会

令和元年度 第1回 定期総会議事録

日時：令和元年6月16日（日）13：15～14：15

場所：琉球大学医学部臨床講義棟2階大講義室

司会：安里光宏理事（中頭病院）

司会により議長団を募ったところ比嘉氏、粟国氏の両名が立候補し、その他役員に関しては理事会案が提示され、下記のとおり承認を求めたところ、満場異議なくこれを承認し総会を開始した。

《総会役員》

議長：比嘉盛治氏（中頭病院）、粟国徳幸氏（浦添総合病院）

資格審査委員：斎藤辰好理事（ハートライフ病院）

議事運営委員：渡口義克理事（沖縄県健康づくり財団）

書記：仲間美香理事（沖縄県立南部医療センター・こども医療センター）、
小泉美也子理事（那覇西クリニック）

開会の挨拶：川田副会長

みなさんお疲れ様です。今日は日曜日で外はすごく天気がいいのですけれど、そのような中、本学会及び総会に参加いただきありがとうございます。これまで会員、賛助会員、学生を含め約350名の方が参加されています。その中で、みなさまのご協力ですmoothな進行が行われればと思っております。では、これより令和元年度の第1回の総会を開催したいと思います。宜しくお願いします。

会長挨拶：手登根会長

みなさん、こんにちは。平成から令和の時代へ移りまして、新たな気持ちで今回学会の開催となりました。昨年度の事業報告を兼ねて話をさせていただきます。昨年度は役員改正があり、新たな5名の理事を含めた新体制で1年を迎えたところです。また昨年度は法改正があり、かなり大きな出来事だったと思います。ご存じのように宮島先生が参議院議員になり3年目を迎え、この4月より財務省政務官としてエリートの方たちのいるなかで、いち臨床検査技師がすごく偉いポストについておられます。本日、日臨技の横地副会長お見えになりお話があったように、日臨技も若手の教育に力を入れています。沖臨技としても、人材育成に関して若い人たちの未来を見据えて力を尽くしていきたいと思っております。政治の話にはなりますが、7月に参議院選挙があります。現在参議院議長である臨床検査技師の伊達忠一さんが今回引退されます。その後、やはり検査関係の国会議員は宮島先生一人になってしまいます。後継者として、小川しんじさんを臨床検査技師会が一丸となって応援し、国会に送りたいと思っておりますので、そこを含め若い人たちにはお願いしたいところです。詳しくはまた後程報告しますので、今日は是非のりある総会にさせていただければと思っております。宜しくお願いします。

資格審査委員・議事運営委員報告

資格審査：斎藤理事

令和元年6月現在の会員数は864名、本日の総会出席者数161名、委任状464名と過半数に達しましたので、本総会が成立することを宣言致します。

議事運営：渡口理事

議事日程を報告させていただきます。第1号議案、第2号議案をまとめて20分、質疑10分、第3号議案、その他を20分、質疑10分をお願い致します。

第1号議案

比嘉議長

ただ今、議事日程が報告されました。時間内で審議していきたいと思っておりますので、みなさまご協力よろしく申し上げます。それでは審議に入ります。まず第1号議案の審議を行います。執行部よろしく願いいたします。

事業報告：手登根会長

昨年度の事業報告をしていきます。詳細は各副会長からさせていただきますが、先ほど話した通り昨年度は宮島先生のおかげで法改正がございました。法改正を行うにあたり国会議員が絶対必要であります。今ハビリの方も勢力的に国会議員を輩出しております。国会議員なしでは法律は変わりません。そういったことをみなさんが知ってほしいと切に望んでおります。今まではこういった場で政治の話はタブーではありましたが、医療関係の団体は与党である自民党を推しており、沖縄では抵抗ある方もおられるとは思いますが、自民党ではなく、いち臨床検査技師を応援してくれる国会議員を送り出すということを是非みなさん頭に入れて協力いただきたいと思っております。法改正にむけて各施設eラーニングをうけ、精度管理責任者を置かなければいけないことになっており、技師がいない施設では医師が担うかと思っております。そこで他の職種ではなく、はっきり臨床検査技師と謳っていることは大きなインパクトがあり、検査技師のひとつの地位の向上につながっていると思っております。各施設におかれましても色々な書類等整備しているかと思っておりますが、おそらくこの夏ぐらいから保健所等の監査がはいる、これらのことが求められるかと思っておりますので、是非対応できるようにお願いします。技師が少ない、もしくは技師のいない小さな施設も今回対象になっていますので、わからないことがあれば技師会としてもできるだけサポートさせていきたいと思っておりますので協力をお願いします。技師会の主な活動は学術活動であり、昨年度も80数件の研修会を終えています。公益活動では健康展等を通じて県民市民に臨床検査技師がどういったことをやっているのか、中高生に対しては医療のなかでの臨床検査技師をアピールしています。またピンクリボンなど他団体へも協力してきました。今年1月には新年会を兼ねて7名の受賞祝賀会を行いました。現在沖臨技の会員は864名が在籍し、右肩上がりが増えており、九州でも多い方です。今日も若い方がたくさん参加しており、是非若手の教育、人材育成を横地副会長の講演を含め強化していきたいと思っております。最後になりますが技師会としては若い人たちの10年後、20年後の将来を見据えて、我々の地位向上の両輪である連盟活動、技師会活動へ全面的に協力していく所存ですので、みなさまも協力をお願いします。

総務部：川田副会長

抄録の71、72ページを参照ください。重要なところだけ述べさせていただきます。12月に役員の研修会を行い、三役・理事12名が参加し、定款、諸規定の確認・見直しを行いました。各賞受賞祝賀会・新年会の前に行われた責任者会議は30名の参加がありました。日臨技の動向や医療法の改正、連盟会費が3000円に値上がりした件などの情報交換を行いました。検体採取等に関する厚生労働省指定講習会は81名の方が受講されました。今年9月で沖縄県では最後の開催となります。昨日までの申し込みを確認したところ36名と少ない数でとどまっております。本会場で200名を予定していますので、未受講の方は是非受けていただきたいと思っております。また、精度保証認証施設は3月の時点で7施設の取得にとどまっております。是非多くの施設が取得されるようお願いいたします。

渉外部：運天副会長

抄録74、75ページを参照ください。渉外は技師会の対外的な活動や他団体の活動を主としております。昨年度は主に5つの活動をしております。多いときは1000人ほどを対象に活動している為、執行部だ

けでは難しく、学術委員や一般の会員の協力のもと昨年度は大成功に終わっております。今年も色々活動を予定していますのでご協力のほどよろしく申し上げます。以上です。

学術部：山城副会長

抄録 76 から 78 ページを参照ください。はじめに修正していただきたい箇所があります。76 ページの一番上の第 54 回日臨技九州支部医学検査学会を沖縄県医学検査学会へ訂正をお願いします。まず、昨年行われた本学会では特別講演に日臨技の丸田先生、教育講演に金城先生、実技講習では微生物チームでグラム染色について行いました。近年、学会内で実技講習を取り入れており、非常に好評となっています。2 つめは大城実行委員長が中心となって行っている沖縄県医師会の精度管理において、教育講演では日臨技の丸田先生が法改正についてお話しています。3 つめは運営に関してですが、9 部門 14 分野で行っています。学術活動に関して昨年度は 87 回行っております。抜粋しておりますが、学術からは以上となります。

比嘉議長

第 1 号議案に関しまして会場よりご質問がありましたら挙手にてお願いいたします。
ないようですので、拍手にて承認をしたいと思います。

第 1 号議案は議長がその承認をもとめたところ、満場異議なくこれを承認可決した。

第 2 号議案

栗国議長

第 2 号議案の審議に入りたいと思います。執行部よろしく申し上げます。

会計報告：宮里理事

平成 30 年度の会計報告をさせていただきます。79 ページの平成 30 年度収支決算書をご覧ください。経常収益の当初の予算額が 10,000,000 円に対し決算は 10,862,913 円、経常費用は予算額 10,000,000 円に対し、決算額 10,598,905 円となっています。当期の増減額は 264,008 円のプラスとなっております。増加の要因となった理由として正会員数の増加による会費収入の増加、各事業の消耗品費用の減少などがあげられます。経常費用で当初の予算より決算額が増加した項目の一つに旅費交通費があげられますが、昨年度は会長が新しくなりました、新旧の会長がそろって参加すべき会議が増えたため、額が増加したことが主な要因であります。決算書の内訳は次ページの損益計算書をご覧ください。続きまして貸借対照表は 81 ページをご覧ください。資産合計は 12,840,230 円、負債は 9,000,812 円、正味財産計は 3,839,418 となっております。内容は次ページの財産目録を参照ください。以上をもちまして平成 30 年度の会計報告とさせていただきます。

会計監査報告：多和田氏

平成 30 年度の監査報告を行います（83 ページ）。去った平成 31 年 4 月 26 日に沖臨技事務所で会長、役員、会計担当理事のもとで監査を行いました。その内容について報告します。監査報告は報告書をご覧ください。事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、当会の状況を正しく示しているものと認めます。職務執行に関する不正の行為、又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められませんでした。その他、財産および損益の状況、すべて重要な点において適切に示しているものと認めます。平成 30 年度公益目的支出計画実施報告書に関する監査報告も同時に行い、定款に従い、公益目的支出計画書の実施状況を正しく示しているものと認めます。

以上、監事 名嘉正光、多和田真順。

栗国議長

第2号議案に関しまして会場よりご質問がありましたら挙手にてお願いいたします。
ないようですので、拍手にて承認をしたいと思います。

第2号議案は議長がその承認をもとめたところ、満場異議なくこれを承認可決した。

第3号議案

議長

第3号議案審議の審議に入りたいと思います。執行部宜しくお願いします。

手登根会長

令和元年度の事業計画について報告します。元号令和は、一人一人が明日に向かって花をさかせるという意味で、沖臨技もそれに準じて邁進していきたく思っております。来週土曜日に日臨技の総会があり、沖縄県代表として参加してきます。すでに議決権行使のはがきが来ているかとは思いますが、昨日の段階で51%ほどの登録がありました。今回日臨技の総会におきまして定款の改定があります。改定の大きなポイントは2つあります。1つめは日臨技のみに属する会員が多くおられましたが、今回の定款改定では廃止となり、日臨技の会員になるためには都道府県の会にも属さなければならず、会費を15000円に統一することです。2つめは現在日臨技の理事は30名程までと定款に謳われおり、各地区より4~5名集まって理事会を開催していましたが、これを各都道府県から代表を選出し、50名に増員しようという点です。目的は2か月に1回理事会を開催し地方からの声をすいあげ、中央執行部からの情報伝達をスムーズにコミュニケーションとれるように、特に今回の選挙の話でもやはり連盟の意義も含めて技師会や自分の将来に対しての一人一人の色々な意見を中央に挙げていこうというのが目的です。その2点が今回の定款の改正の大きなことでもあります。それに対する議決権行使なので3分の2以上の賛成がなければ成立せず流れてしまうこととなります。目標の70%まであと20%ほどですので、みなさんご協力よろしくお願いします。まだの方はネットで簡単にできますので、早めをお願いしたいと思います。検体採取講習会は今年が最後の年になります。今年卒業した新会員までは受ける必要がありますが、現4年生からはカリキュラムに組み込まれている為、受講の必要がありません。沖縄では今回限りです。現在36名しか応募がありませんが200名まで用意しています。沖縄県の会員の受講率は70%を少し超えている程度で残り27~28%の方が受講していません。これは永久的に臨床検査技師にプラスアルファされた永久資格です。うけていない方はとられることをお勧めします。これがなければ検体採取は違法になりますので、できるだけ多くの方がとるようにお願いしたいと思います。横地副会長の話にもあったように日臨技も新人教育、若手を育成するためのプランに力を入れてきています。日程は未定ですが、若手人材育成講習会も企画しています。各都道府県より一人代表者を集めて今年は熱海の旅館に閉じ込められて研修をおこなっているようです。沖縄県からは山城副会長が参加しており、すごく意義のある研修会でそれを各県に持ち帰り同じような内容を各県で若手を募って研修会を行う予定で企画していますので若い方は是非参加してほしいと思います。もう1つは昨年までは他職種連携のための能力開発講習会というものがありませんでしたが、ベッドサイド実践研修会という短い名前にかわりました。他職種からはなしを聞きながら、病棟や在宅等に行ったときに我々に何ができるかということを含めて考えようという講習会になっています。企画段階ですので詳細が決まり次第お知らせしたいと思います。もう一つは初級職能開発講習会というものを12月8日に企画しており、技師歴10年ぐらいの若手を対象としています。宮島会長の講演を1時間、その後横地副会長から今日はなされた内容を含めての講演、そ

れをテーマに午後からグループでディスカッションしていく講習会を企画しています。日程は決まっていますので、30歳前後の多くの方が参加できるようにお願いしたいと思います。8月にコンベンションセンターで行う沖縄県のなごみ会主催の県民健康フェア、11月にイオン南風原店において沖臨技主催の全国検査と健康展をなどの活動もどんどんやっています。学術活動ですが、1つの研修会で最大5万円まで、最大20研修会まで日臨技より助成が受けられますが沖縄県では使い切ったことがなく、いつもいづらか残した形でいづらか失効されているので、今年度は全部使い切れるように学術各分野へお願いしたいと思います。あと日臨技はeラーニングに力を入れていますが、実際やっている方は少ないと思います。会員一人一人登録する必要はありますが今度は団体でも入れるようになり、地方のハンデも克服できるような濃い内容となっているので、みなさんやっていただけるようお願いしたいと思います。最後に再来年九州学会を沖縄で開催することになっています。本来は福岡県の担当でしたが、同じ年に全国学会を誘致しましたので、沖縄県が1年繰り上がってやることになりました。本学会が終わり次第、新たに組織編制して九州学会にむけて取り組んでいきたいと思っておりますので、今後ともご協力をお願いしたいと思います。以上です。

川田副会長

総務からです。組織運営の強化、情報・連絡網の強化、広報活動を重点的に行っていきたいと思っております。日臨技の組織強化の一環としての重点事業であるベツトサイド実践講習会、初級職能開発講習会、リーダー育成研修会が県内のほうで開催が予定されています。それに向けて積極的に取り組んでいきたいと思っております。2019年春の叙勲瑞宝双光章を元ハートライフ病院の比嘉一廣様が受章されました。技師会として受賞祝賀会を来年の1月に予定していますので、是非ご参加の方よろしく申し上げます。技師連盟活動に関しては、7月に参議院選挙に向けて協力していきたいと思っております。本会場にもブースがありますので、ご来場の方はご加入の方よろしく申し上げます。以上です。

運天副会長

渉外担当の運天でございます。会誌の88ページ、会誌に書いている補足をさせていただきたいと思っております。2番目に第11回新人宿泊研修会を来月7月13日に予定しており、今の申し込みの状況が20人不足です。まだ申し込みしてない方がいらしたら、締め切りが19日今週の水曜日までですので、よろしく申し上げます。会誌には間に合わなかったですけど、8月17日土曜日14時開始、産業支援センターにおきまして「これが乳がん治療の最前線だ」というタイトルで、那覇西クリニックの玉城研太朗先生にご講演していただくことになっています。市民公開講座なので一般の方も来られますが、技師会の方からも多数のご参加していただくようお願いしたいと思います。私の方からは以上です。

山城副会長

学術の方からです。88から90ページになります。まず2番目学術分野の運営について、引き続き9部門14分野で活動してまいります。3番目に沖縄県医師会精度管理、今年度も大城実行委員長を中心に8月頃に8分野について実施予定です。5番目の九州支部医学検査学会について、今年度11月2、3日に熊本で開催されます。現段階で一般演題のエントリーが沖縄県は0です。各施設ご協力のほどよろしく申し上げます。最後に10番、2021年度日臨技九州支部検査学会が沖縄県で開催されます。今学会終わった後に組織図、企画など考えていきたいと思っております。記載されていませんが、今年度の11月17日に九州支部卒後セミナー臨床生理部門が沖縄県で担当することになっています。現在ハートライフ病院の斎藤九州支部部門長を中心に頑張っております。各施設からご参加いただけますようお願い申し上げます。以上学術分野の報告とさせていただきます。

瀬戸事務局長

予算について説明させていただきます。91～92ページの予算書が掲載されております。初めに訂正をお願いいたします。タイトルの予算書の下に期間がありますが令和元年を2年に、次ページの期間も同様に訂

正お願いします。内容に関しましては例年どおりの予算案となっています。92 ページには例年の比較予算案がありますので決算としてご覧ください。執行部の方よりよりリーダー研修会、ベッドサイド講習会などが新たな企画がありましたが、日臨技の助成等を頂いて運営しますので特に大きな予算の変更はないと考えていますので、このように予算を作成しました。以上です。

栗國議長

第 3 号議案に関しまして会場よりご質問がありましたら挙手にてお願いいたします。ないようですので、拍手にて承認をしたいと思います。

以上をもちまして第 1 号議案、第 3 号議案までの審議を終了いたします。

その他審議のある方はいらっしゃいますか。

屋嘉比氏

琉大附属病院の屋嘉比と申します。今回の学会誌のページ 93～106 に、昨年の総会の議事録が掲載されています。今回掲載されている議事録の形式がこれまでと違っており、テープ起こしの発言、記録の議事録となっております。今回の様な議事録は発言者の氏名も記載されています。公開される前に発言者全員回覧し、内容を確認させるべきだったと思います。発言した内容が言い換えられていたり、誤ったり抜けていたりしますし、プレゼンテーションが昨年ありましたがその状況が省かれております。重要と思われる部分が省かれているように思えて、ちょっと作為的なものを感じております。昨年の総会で、宮里泰山さんがプレゼンテーションで紹介した 2 種類のエクセルシートの表がありましたけど、それも今回議事録に掲載していただけたら良かったと思います。表を掲載すると、より多くの会員がこの問題について関心をもてるのではないかと思います。本日の総会の内容についても発言記録として、録音してテープ起こしをするようでありましたら、やはり正確かつ慎重にやっていただきたいと思います。そのためにもテープ起こしは、関係者ではなく第三者に依頼すべきで、できれば専門業者に委託したほうが良いと思います。以上です。

手登根会長

ご指摘いただいたように当事者に確認すべきだったと思います。そこは抜けており、謝罪したいと思います。ただ、会員に隠すことなく事実を見せることで技師会の中でも決定しましたのでご了承願いたいと思います。グラフに関しては、ご指摘のように会員にも閲覧できるような形にはしたいと思います。それは少し検討させてください。

長嶺氏

屋嘉比さんの発言したことは的を射ていると思います。私は違う角度から考えてみました。昨年の総会で宮里さんが紹介した総タンパクのエクセルシートですけど、その SDI は冊子に記載された SDI と明らかに違っていました。データは全くの別物でした。ということは再現されていない。私が思うには、あの PDF に直す前のエクセルのシートは、ファイルとしてどこに行ったのでしょうか。どこに消えたのか不思議です。はっきり申し上げて、あれも、もしかしたら“改ざん”。それとですね、これが“改ざん”ではないかなと証明できる詳細な資料も作成しております。これは昨年総会の動画と写真、音声記録そのままですね。えーとか、あーとか、うーとかそういうのも全部入っています。これを私の名誉、今後の精度管理のため、近日中にしかるべき対応をしたいと思っています。以上です。

宮里理事

みなさんこんにちは。昨年度は皆さまに見苦しい点をお見せしてしまいまして、色々な方々からお叱りの言葉をいただきました。今年は振る舞いを考えまして、発言を注意した上で質問にお答えいたします。

私としてもエクセルファイルの方を長嶺さんにみて頂きたいと思っておりますが、ではなぜ渡さないのかということが一番重要な点です。みなさんも疑問に思っているかと思います。実は長嶺さんから“改ざん”したのではないかという風に指摘があったときに、当然その時長嶺さんにエクセルファイルを渡していないのですが、どうして長嶺さんは私達のデータを持っていないのにも関わらず、“改ざん”をしたと言い切れるのかと思いました。あとで私達が持っているデータを渡すと、どう利用されるのか解らないと心配があって渡さないという判断にいたっております。昨年参加されたみなさまの前で見ていただいたデータはパソコンの中にあります。隠すつもりは全くありません。もう一人の解析員の方と一緒におかしくなるということは、昨年みなさまの前で発表する前に再現も行っております。改めて昨年、みなさまの前で説明したことにしても“改ざん”という風に言われるならば、私個人的な問題はさておき、沖縄県医師会として当然受け入れられるものではないと思っておりますので、長嶺さんがどういう理由で“改ざん”とおっしゃっているのか確認したいと。恐らくここは、恐らくですよ。私の考えですよ。私がやったミスを数的に何が起こったというのをエクセルの中でどういうことが起こったのだということを、長嶺さんは説明できるのだと思います。これを故意にやったのか、目的があってやったのかどうなのかということは長嶺さんが解るはずもありませんし、勿論私は“改ざん”をやっておりません。これを“改ざん”として証明できるという風におっしゃっているのであれば、これは私も非常に興味深い内容ではありますので、長嶺さんについては遠慮することなくこういった疑惑というのは徹底的に払しょくするべきであると思っております。こういった手順があるのでしょうか思いうかばないのですが、はっきりさせるべきだというその点では長嶺さんと一致しております。以上です。

長嶺氏

はい、では私は思うとおりにやっています。ひとこと言っておきますが、エクセルにタイトル表とかを入れると式が変わる。これ絶対ありません。あるとしたらかなり故意に、例えば IF (イフ) とかを使って仕掛けを作ると変わります。私は 30 年間精度管理に携わってきたが、こういうことは 1 回も経験したことはありません。もちろん PDF ファイルを作ったり、あるいは担当の方に冊子を作るためにこれを送ったこともです。だから誰がやったかというよりも、それがいえるのかということの後で証明しましょう。いいですか。

栗国議長

それではよろしいですか。これ以上、この総会で“改ざん”を議論することはできないので、別の機会に行いましょう。

松川氏

よろしいでしょうか。この件は、私が会長のときに起きたことなので、ひとことよろしいですか。長嶺さんね。そこまで言うのであれば、沖縄県医師会の精度管理へ異議申し立てし、説明した方がいいと思います。

長嶺氏

よろしいですよ。そこも考えています。

松川氏

長嶺さんのデータも、当時の生化学検査部門のデータも出して、統計学に詳しい先生もいらっしやるので、そこで議論したほうがいいですよ。

長嶺氏

私がデータを欲しかったというのは、エクセルの内容の SDI を保存した式が見たかったのですよ。その式を見たらすぐわかります。

松川氏

ですから、あの時は CV が 14 から 16%、それが間違っていないか検証したわけですよね。

長嶺氏

CV というのは SD と一体です。

松川氏

ですから、CV が 14 から 16%高いから。

栗国議長

すいません。よろしいですか。

長嶺氏

終わりました。

松川氏

医師会の精度管理委員に琉球大学医学部附属病院の前田部長もいますので、屋嘉比さんと一緒に二人で行って、ちゃんと結論を出したほうがいいですよ。こちら側は、医師会へ当時の結果も訂正文も出していますので、それ以上できません。私たちが出したデータが正しいと言っていますので、その辺を医師会の精度管理委員会に、精度管理委員長の大城さん、大城さんいますか。

栗国議長

では、大城さんも含めて、関係者を集めて、詳細はこの場ではない場で話し合いの場を持つということをしてください。お互いが納得いくように第三者を入れ、もう一度話し合いをしてください。みなさんそれよろしいでしょうか。

議長がその承認をもとめたところ、満場異議なくこれを承認可決した。

議長は以上をもって本日の議事を終了した。

閉会の挨拶：山城副会長

みなさまお疲れ様です。本日は多数総会に参加いただきありがとうございます。当会は、今年度も日臨技の方針に準じて活動して参ります。日臨技からの課題である各研修会、法改正、連盟との連携、2年後に沖縄県で開催される日臨技九州支部医学検査学会など多数事業が控えております。手登根会長を軸に、執行部一丸となって頑張る参りますので、会員のみなさまのご協力、ご支援、引き続きよろしくお願いいたします。以上を閉会の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

午後 2 時 15 分に総会が閉会した。

文責：仲間 美香

小泉 美也子